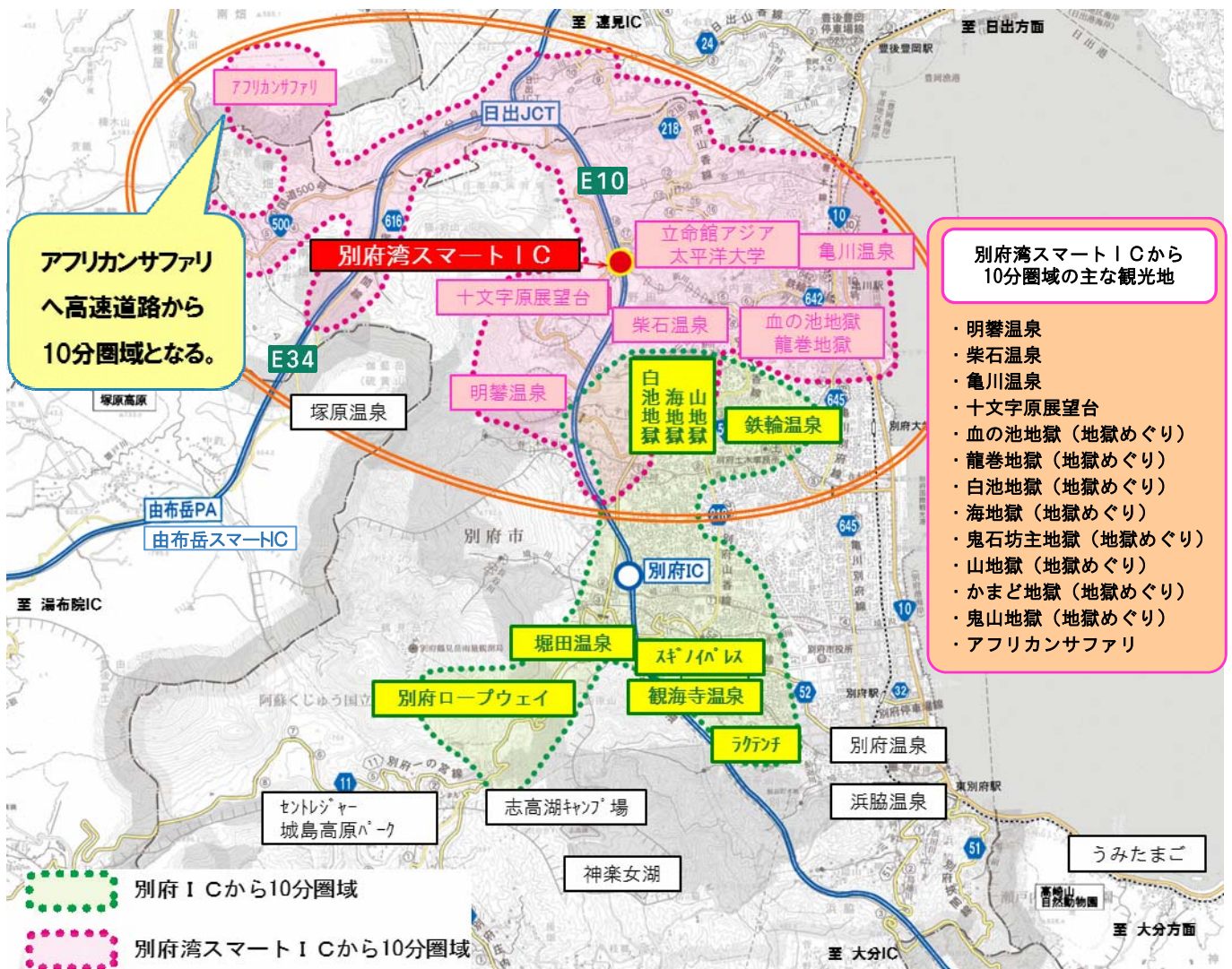


フルインター化により期待される整備効果

【整備効果①】観光振興への貢献

隣接するインターチェンジを周遊する新たな観光ルートの形成や、インターチェンジからの10分圏域の拡大により、別府北部地域の活性化や観光客の増加が期待されます。また観光シーズンに発生する別府インターチェンジ周辺の渋滞解消も期待されます。



明礬温泉



十文字原展望台



血の池地獄



アフリカンサファリ



フルインター化により期待される整備効果

【整備効果②】国際施設の利便性向上

別府湾スマートインターチェンジに隣接する立命館アジア太平洋大学 (APU) は88の国・地域から学生が集まる国際大学であり各国要人も含めた来訪者は年間2万人を超える状況です。

また大分県内全市町村および福岡市等、県外の自治体とも観光振興、人材育成等に関する連携協定を締結しており、福岡方面への移動時間の短縮による利便性向上により、大学の交流促進に大きく寄与することが期待されます。



APUより福岡方面へ
別府湾スマートIC（ハーフIC下り線）の場合、別府ICまで約11分の移動が必要。フル化整備により、移動の必要がなくなり、**約14分**の時間短縮。

所用時間：約3分

宮崎方面から8分
福岡方面から14分
の時間短縮

宮崎方面よりAPUへ
別府湾スマートIC（ハーフIC上り線）の場合、別府ICより約11分移動が必要。フル化整備により、約3分で移動でき、**約8分**の時間短縮。

APUの国際・国内別の学生構成



学生総数 5,963名
(2018年5月1日現在)

別府市、APU、JALの協定締結式
JAL溝之上氏(左)長野別府市長(中)と今村副学長



福岡市、APUの協定締結式
高島福岡市長(左)と是永前学長



フルインター化により期待される整備効果

【整備効果③】リダンダンシーの確保

東九州自動車道へのアクセスが向上することにより、高速道路を利用した広域的な緊急輸送道路ネットワークが構築可能となります。津波浸水時の亀川地区等別府北部地域への迅速な対応、鶴見岳噴火による別府インターチェンジ被災時の対応、また立命館アジア太平洋大学の防災拠点としての活用など、大規模災害時におけるリダンダンシーの確保が期待されます。



	緊急輸送道路
	幹線道路

最大浸水深 (m)

	0m以上～0.5m未満
	0.5m以上～1m未満
	1m以上～2m未満
	2m以上～3m未満
	3m以上～4m未満
	4m以上～5m未満
	5m以上～10m未満

----- 海拔5m線

----- 海拔10m線

浸水域と浸水深は大分県津波浸水予測調査結果(平成25年1月)に基づく

記号の色と意味

- 想定火口位置
- 想定火口からの距離
- 降灰(火山灰)の厚さ
- 噴石
風の影響を受けない大きな噴石(概ね50cm以上)が飛んできると危険性のある範囲です。
- 火砕流本体部
- 火砕サージ
(本体周囲の熱風部)
- 溶岩流が流れる予想範囲

